会報221号添付資料　①

㊞

2023年8月30日

鎌倉市
　市長　　松尾　崇　様
鎌倉市教育委員会
　教育長　高橋洋平　様

図書館とともだち・鎌倉
代表　水岡やす子

これからの鎌倉の図書館について（要望）

日頃より、鎌倉市行政の充実・向上にご尽力いただき感謝申し上げます。

さて、現在鎌倉市では、予定される本庁舎移転や移転後の市庁舎現在地の利活用に伴い、深沢図書館（昭和55年開館）や中央図書館（昭和49年開館）の新築、移転を含む『基本計画』や『基本構想』が策定されています。

当会では、市が主催するワークショップに参加したり、担当課に出前講座を依頼するなどして、それぞれの計画や構想への理解を深めてきました。同時に、計5回の連続講座を主催し延べ151名の参加者とともに多様な観点から学び、話し合う時間をもちました。

この度、それらの成果を「これからの鎌倉の図書館にのぞむ市民の提言」として同参考資料とともにまとめましたので、ここに添付し次の点について要望致します。

ご回答は文書にて頂きたくよろしくお願い申し上げます。

1．『実施計画』や『基本計画』の策定にあたっては、添付した「これからの鎌倉の図書館にのぞむ市民の提言」を参考資料として加えてください。

2．　およそ半世紀ぶりに中央図書館と地域図書館の新築あるいは改築による移転が予定されているにも関わらず、鎌倉市役所本庁舎等の整備に関して必要な事項を調査・審議する鎌倉市本庁舎等整備委員会に、図書館あるいは図書館建築の専門家が不在です。

　加えて、鎌倉市図書館の運営に関する諮問及び意見具申機関である鎌倉市図書館協議会における審議も実施されていません。

　また、鎌倉の図書館は、明治44年創立の時から現在に至るまで、市民の篤志に支えられ、市民と共に歩んできた鎌倉ならではの歴史をもちます。

　図書館法の理念に則った、鎌倉にふさわしい図書館構想を具現化するための議論がより活発に進められるよう、図書館分野の専門家や建築家、日頃から図書館と協働関係にある複数の市民団体が参加する専門委員会の場を設けてください。

以上